

8点入力付き メインユニット

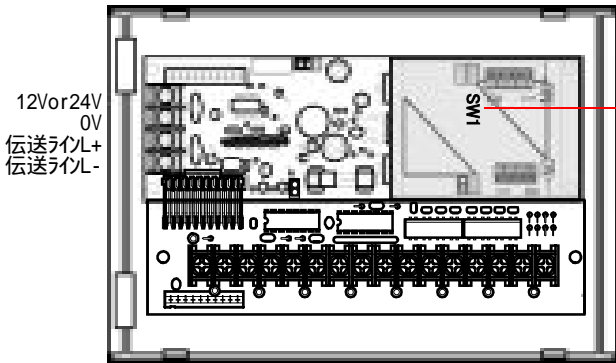
PU8IN

tkSK-003

Ver-3.8

特徴

- ・伝送用電源ULP03に増設用8点入力基板を増設したものです。
- ・サブユニット間の通信を可能にし、1部の信号をこのユニットで入力できます。
- ・PU8INはこのユニットから入力してサブユニットに出力することができます。



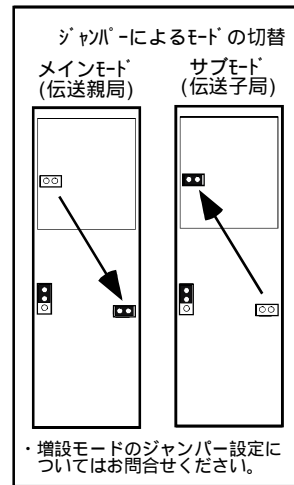
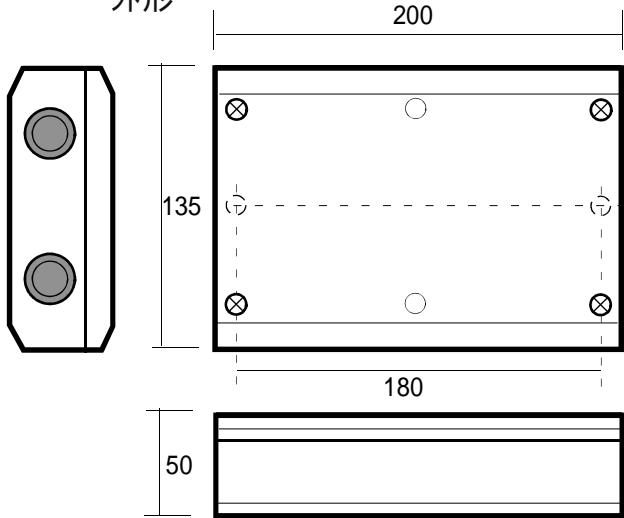
ON 入力設定SW
設定方法
 1 増設した入力基板の先頭のアドレス-1に合わせる
 8 (SW1~8の2進数合計をONする)

例
 右側に増設する入力基板 (SR8IN) を81から使う場合
 81-1=80なので16+64=80
 SW.No 5と7をON

アドレス設定
 左図のULP03の放熱フィンの下にあるダイヤルSWで設定します。それぞれのSWに下記の2進数が割付けてあります。

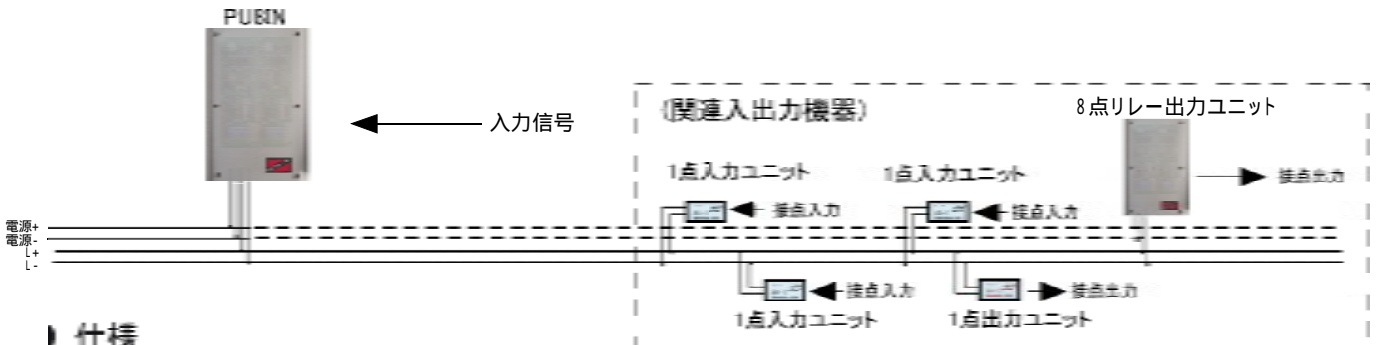
SWNo	2進数
1	1
2	2
3	4
4	8
5	16
6	32
7	64
8	128

外形



アドレス
 時分割多重伝送の時間的な位置の事で、その位置に接点信号のON/OFF状態が入ります。通常このアドレスは256ありこのアドレス=接点信号のI/O番号となります。

接続方法



仕様

電源電圧	DC12/DC24V 兼用
消費電流	450mA (突入電流1A)
クロック周波数	約512Hz
クロック数	256 (128・64)
内部入力点数	8点 (外部に256点まで増設可)
質量	約480g